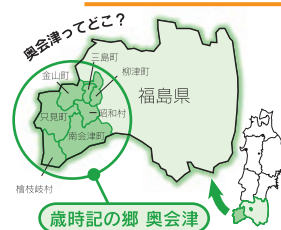


# 奥会津だより



あなたはだあれ  
風に揺られ 雨に叩かれる日々を耐えて  
それでもここが安全と  
一本のススキに紐った親鳥の子育て

（ホヤン）回を繰り返します

写真：菅家博昭

# おじいちゃんとおばあちゃんに聞いた、葉たばこ栽培

昭和村立昭和小学校 六年 齋藤 愛里

この写真は、昭和四十八年に葉たばこ栽培をやっている時の写真です。葉たばこ栽培では、雪がとけて最初にやるのは、二十メートルぐらいの箱にわらと木の葉と、牛のたい肥を入れ温所を作り、その所に水といっしょに種をしようろでまくそうです。そして芽が出た所からとり、育苗箱にまた植えるそうです。その後、畑に植え、育

つのを待ちます。七月の中頃からたばこの葉を収穫するそうです。八月いっぱいぐらいまで続くそうです。葉を一枚ずつとりまから、それを葉かきといっそうです。乾燥したものをなわであみまます。棒にかけて乾燥させるそうです。棒乾燥させた後に、良い葉と悪い葉に分けるそうです。その後、専売公社に納めるそうです。タバコは、国で管理していたそうです。そしてタバコを売って、買ってもらっていたそうです。共同作業でやっていたそうです。



昔は、共同作業を結びと言っていたそうです。昔の人たちは、たばこでお金などをかせいでいたのがすごいと思いました。苦労して生きて来たと思うことができてよかったです。あまり昔の写真を見たことがないので見られて、よかったです。

## 取材ノート

祖父：齋藤 武さん  
(昭和二十八年生 六十四歳)  
祖母：齋藤サツミさん  
(昭和三十三年生 六十一歳)  
孫：齋藤 愛里さん  
(平成十八年生 十二歳)  
(昭和十一年)

Q：葉たばこの種はどこで買ったのですか？

武さん：それは、専売公社。ものすごく細かい種で、それをジョウロにいれて「温床」にまいた。

Q：たばこの品種は？

武さん：マツカワハ(松川葉)だと思います。後になってダルマ葉となって、それになったら、もう衰退しちゃってみんなやめたんです。

Q：それはなぜ？

武さん：たばこで稼げなくなっからです。マツカワハは、背丈が二mぐらいあったかな。下から、土葉(ドハ)・中葉・本葉・天葉、一番いいところは中葉。我々子どもの頃は、そう呼んでました。これを選別すれば、キロいくらで高く売れたんですが、ダルマ葉になつたら収穫があがないからみんなやめた。昔は、百姓で一番稼げたんじゃないですかね、たばこは。

Q：米と同じように確実に買ってもらえるから？

武さん：いいモノ作れば、決まった値段で間違いなく高く買ってもらえる。

Q：たばこの収穫は七月中旬からですね。

武さん：七月のちょうど夏休みの頃だった。たばこっていうと嫌な思い出しかないですよ。夏休みといえ、たばこですから。手はヤニで汚れるし、身体はベタベタになるし。その葉を「土手干し」なんて干して、そのころ皆牛を飼っていて、牛逃げたあなんて言っていて、たばこ干してあつとこ、こがっちゃあ、なんて笑い話もあつたな。

Q：その後、耕運機が入ってきたんですね。

武さん：俺ら小学校の頃かな、最初の耕運機。昭和三十年代、三島の「板橋モーター」豆トラとか。

Q：写真を見ながら孫さんと話を

して、どうでしたか？

武さん：今は、結婚しない人が多いから、息子が結婚して、ま

さか私が五十代で孫が出来て、孫とこんな話を出来るとは思っていませんでした。幸せだなあ、と思います。今、カスミソウ栽培やっていますが、働きたいがあります。サツミさん：孫をおんぶして畑仕事をして、ひいじいちゃんもひいばちゃんも一緒にした。

Q：愛里さん、じいちゃんとおばあちゃんから話を聞いて、どうでしたか？

愛里さん：昔は、たいへんだったなあ、と思いました。

※松川葉、福島県石川郡古殿町に松川葉原産地の碑がある。

写真・文責：菅 敬浩

## 奥会津の鳥

〈オオコノハズク〉

写真・文：新国 勇



小型のフクロウの仲間。コノハズクより一回り大きくて枯葉模様であることから「大木葉木菟」という。昆虫類から両生類、爬虫類、鳥類、ネズミ類まで食べる。野外で見かける機会は少ないが、時折人家に迷い込んで発見されることが多い。耳のように見えるのは羽角という羽で、日中だけ立て夜間はたたむ。



虫送り

田植えが終わった祝いのサナブリの夜、子どもたちが提灯に火を灯して村を練り歩く。長い灯の行列は、ゆっくりと地面を轟かす太鼓や掛け声とともに、農耕を妨げる虫たちを村はずれまで送って行く。虫も列に連なり、虫たちの魂を荘厳するかのようだ。



草・樹を使って

葉っぱの救急隊

野に出ているときに誤って切り傷を作ることがあるが、あればフキの葉を揉んで汁を絞り、種類の違うやわらかな葉っぱを三枚重ねて傷口を塞ぎ、包帯で押さえると出血が止まる。山仕事などでの応急処置だが、その後、きちんと処置することは言うまでもない。



奥会津の食材と料理

シオデの三五八漬け

春から楽しんできた山菜の最後の出番はシオデ。野生のアスパラとも言われ、レシピを選ばない。奥会津でも貴重品だ。さっと湯がいて漬け床に数時間。アクのない繊細な味そのままのシャキッとした食感が爽やかだ。

奥会津の植物 〈ノリウツギ〉 写真・文：新国 勇



山地の日当たりのよい開けた場所に好んで自生する落葉低木。その純白の花と初夏の青空はよく似合う。和紙をすく際の糊として利用されたというが、奥会津ではニレとよび、杖や箸の材料とした。



奥会津の暮らし〜室内

写真・文 竹島善一

一日の仕事が終わって、近隣の人が集まり話している。大黒柱を背にしている人が家の主である。この日は葉タバコの作柄と買い入れ側（専売公社）の今後の意向についてが話題だった。会津の農民は、農作業への誠実さもさりながら、会話も実のある重い話となる。

（昭和五十七年八月 三島町西方）

# Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう？

「こがっちゃあ」 ヒント：P2.「聞き書き百選」をご参照下さい。

正解者の中から抽選で5名様に、三島町の「ブドウツルペンダント」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979  
奥会津書房 宛

●応募締切：2018年8月20日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。 ※クイズの答えは次号106号で発表いたします。



◎104号「でろっこ」の答え：泥

たくさんのご応募ありがとうございました!

# 読者コーナー



- 「タケノコの皮に梅干」はとても懐かしく、戦中戦後のお菓子不足のころを思い出しました。三角に包んだ角よりすったりあたためたり、赤くなるのを競い合い、兄弟姉妹や友達との楽しい一時でした。残しておきたいものです。(千葉県我孫子市:K.Kさん)
- 実家で祖母と読み、昔はこうだったと、こんな機会でないと思うことのできない話をしました。宮城・登米出身の祖母は、子供のころ田植えの際には蓑を着て、目に苗がささらぬようお面のようなものをつけたと貴重な話も聞きました。(仙台市:H.Tさん)
- 私の住む千葉でも、キンモクセイの香るころがハツタケ(茸)の採り時という言い伝えもあります。(我孫子市:N.Aさん)
- 手で田植えをしている写真や話に頭が下がる思いでした。不便な時代でしたが、心と心が通い合う本来の良さを見た気がしました。(草加市:O.Kさん)
- 4頁の紙面にどれほどの思いをこめて作っていらっしゃるのだろうと、毎号、紙面に引き込まれます。「室内」の写真は、なぜかきゅんと胸が痛くなるほど目が吸い寄せられました。(福岡県大野市:H.Kさん)

奥会津だよりの  
定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuazu.net

## 奥会津うまいもんフェア & ハンドメイドフェア

奥ロック同時開催

平成30年 8月25日(土)

奥ロックの会場にて「奥会津うまいもんフェア&ハンドメイドフェア」を開催いたします。奥会津の食・手芸品の両方をお楽しみください。

日時：平成30年8月25日(土) 11時開場 19時終了予定  
会場：奥会津昭和の森キャンプ場(昭和村)

## 奥会津イベント情報

8月~9月

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
8月4日(土)	門前町ピアガーデン	柳津町	柳津町寺家町内	NPO法人奥会津まちづくり支援機構 ☎0241-42-2244
8月4日(土)~5日(日)	第42回沼沢湖水まつり	金山町	金山町 沼沢湖畔	金山町観光物産協会 ☎0241-42-7211
	第26回真夏の雪まつり	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
8月5日(日)	大桃夢舞台	伊南地域	大桃の舞台	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
8月10日(金)	霊まつり大法要・稚児行列・流灯花火大会	柳津町	大法要・稚児行列：圓藏寺 流灯花火大会：道の駅会津柳津裏只見川沿い	霊まつり流灯花火大会実行委員会 ☎0241-42-2346
8月18日(土)	鎮守神祭礼奉納歌舞伎	檜枝岐村	檜枝岐の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
8月25日(土)	奥会津ロックフェスティバル2018	奥会津	昭和村 奥会津昭和の森キャンプ場	只見川電源流域振興協議会 ☎0241-48-5525
9月1日(土)	星空×ヨガ	三島町	美坂高原	三島町役場地域政策課 ☎0241-48-5533
	奥会津只見辰辰150周年記念特別講演会 講師：元NHKアナウンサー 国井 雅比古 氏	只見町	季の郷湯ら里	奥会津只見辰辰150周年記念事業実行委員会(只見町役場観光工商課内) ☎0241-82-5240
	南郷豊年まつり	南郷地域	南郷グラウンド	南会津町商工会南郷支所 ☎0241-72-2041
9月2日(日)	伊南川刺し網解禁	伊南地域	伊南川	南会津西部非出資漁業協同組合 ☎0241-72-2110
	只見駅前通りウキウキわいわいフェスタ	只見町	只見駅前通り	只見駅前通りウキウキわいわいフェスタ実行委員会(只見振興センター内) ☎0241-82-2141
9月5日(水)	第5回南会津そばウォーク	館岩地域	たかつえスキー場	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
	第34回歌舞伎の夕べ	檜枝岐村	檜枝岐の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
9月8日(土)~9日(日)	山入歌舞伎	金山町	芸能伝承館	金山町教育係 ☎0241-54-5360
	古町のまつり	伊南地域	古町通り	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
9月22日(土)~ 10月8日(月・祝)	ふくしま尾瀬檜枝岐マウンテンフェス2018	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	ふくしま尾瀬檜枝岐マウンテンフェス事務所 ☎03-3708-6051
	山人秋まつり		檜枝岐村内(旅館・民宿)	
9月24日(月)	継之助ウォーク	只見町	JR只見駅前広場	(株)会津ただみ振興公社 ☎0241-83-1733
9月29日(土)~ 30日(日)	さいたま市南会津町親善ソーデーマーチ	館岩地域	館岩地域	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
9月30日(日)	九月堂おこもり	柳津町	福満虚空藏菩薩園藏寺	柳津観光協会 ☎0241-42-2346



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)  
発行日：7月17日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525  
http://www.okuazu.net ✉webmaster@okuazu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。